

パウダーレスインキ「キレイナ」の実力 (広告)

23. 重い絵柄でも効果を発揮 [サンニチ印刷]

片面印刷、両面印刷、水なし印刷、OP ニスと、バリエーションの広がりとともにその効果を提供し続けているパウダーレスインキ「ベストワンキレイナ」。飛ぶ鳥を落とす勢いとも言えなくもないが、現在に至る辛い経験や失敗を経て積み重ねた現状の品質やその評価に慢心することはない。

山梨・甲府の(株)サンニチ印刷(河西光雄代表取締役、従業員250人)も、初期段階のテストではうまくいかず、採用となるまでには紆余曲折があった会社のひとつだ。

失敗が次のチャレンジの糧に

サンニチ印刷がキレイナを知ったのは、工務局生産二部の荻久部長が2015年9月のIGAS展のT&K TOKAブースでのこと。キレイナで印刷した刷り物のサラサラとした手触り感に、パウダーがない効果を実感できた。また、担当営業からすでに他社で採用され、効果が出ていることも聞いた。しかし、「ほんとにうまくいくの?」という、誰もが思う感想だった。

ここ数年、デザイナーの嗜好のためか、業界全体で嵩高紙が多くなってきており、御多分に漏れず同社もパウダー量が多く、とくに両面印刷機での散布量の多さは気になっていた。同社のプロセスインキはもともとTOKAだったため、すぐに8色両面兼用機でテストが始まった。

同社は、一般商業印刷、出版印刷を得意とするが、難しい絵柄、重たい絵柄の仕事が多い。品質が良いからそのような仕事が集まるし、逆に営業も差別化のためにあえて難易度の高い仕事を受注

しているようだ。

それらは、デザイナーの好みでマット紙や嵩高紙への印刷となる。当然パウダーを減らしたいのだが、キレイナが得意とするコート紙はサンニチ印刷では少なく、初期段階のテストは残念ながら裏移りの発生や理想のパウダー量削減とならず失敗に終わり、社内ではキレイナへの意識は薄れていった。

そうして1年ほどが過ぎたが、ボタ落ちなどパウダーに起因するトラブルへの解決策も見いだせないまま、顧客からの品質への指摘も増えてきた。やはりパウダーレスを目指すしかない。改めて片面機から挑戦してみようということになった。

印刷技術的にはゼロ可能

2016年9月から、6色+コーターの片面機で、さまざまな紙でテストを始めた。その結果は、荻部長に聞いても生産二部枚葉印刷課の中村泰治課長、鍛冶暁課長に聞いても明らかで、パウダーが大幅に削減でき、ボタ落ちがなくなった、片面機特有の墨のインキ飛びがなくなった、と良いこ



サンニチ印刷の枚葉印刷はすべてハイデルベルグ製の菊全判機で、現在は8色機2台、6色+コーター機1台、2色機1台の体制

と尽くめであり、翌10月から本稼働となった。

重たい絵柄の印刷が多い同社だが、「印刷技術的にはパウダーゼロも可能です」(荻部長)という。しかし、パウダーがまったくないと用紙揃えが悪いので、あえて少しはパウダーを散布している、という現状だ。「パウダーが原因の事故はほとんどなくなり、機長は絵柄や紙銘柄を見ながら従来のパウダー量の半分から3分の1程度で印刷しています」(中村課長)。もともと湿し水を絞り、パウダー量も減らすという意識は高かったが、パウダーの削減効果は大きいようだ。

パウダーが少なくなればトラブル減少のほか、「印刷機周りもパウダーがない分、きれいになり印刷機も長持ちします。メンテナンスや掃除の時間を生産時間に充てることもできます」(荻部長)。掃除の時間を減らし生産時間を増やすという、時間の価値にもつなげている。

また、現在は片面機でキレイナを使っているが、同社の仕事のほとんどは両面印刷。片面印刷後、最短4~5時間で上がり面を印刷できるようにもなった。

こだわりが多い顧客

難しい仕事が多いということは、初回の印刷品質にこだわるのは当然だが、リピートの印刷品質にもこだわる顧客が多いということ。ある大学の学

校案内のパンフレットの再版の仕事で、発注元のデザイン会社が、クレームではないが前回との光沢の違いを「何か材料を変えましたか?」と、良い意味で指摘した。

同社では、光沢加工や表面保護のためOPニスを施す仕事も多い。初回は通常のプロセスインキとOPニスだったが、再版時はインキもニスもキレイナだった。OPニスもプロセスインキ同様にパウダーレス効果がある。顧客はパウダーによるザラザラ感が減り、光沢感が増したことに気づいたのだ。

こだわりある顧客に関心するとともに、そのような顧客を多く持つサンニチ印刷も印刷会社冥利に尽きるのかもしれない。

両面機へ

片面機では、荻部長、中村課長、鍛冶課長と十分キレイナの効果を実感している。今後は当然、2台ある8色両面兼用機への展開だ。

片面機で効果の確認、使用方法のコツがつかめたので、今すぐにでもテストに入りたいが、現状フル稼働で、なかなかテストの時間がとれないのが悩みの種だという。

だが、この2台がキレイナに変わるのも時間の問題のようだ。(つづく)

革新的なパウダーレスインキ「ベストワンキレイナ」

BESTONE
KIREINA®

2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。

GOOD DESIGN
AWARD 2016

T&K TOKA®

株式会社 T&K TOKA <http://www.tk-toka.co.jp>
TEL 049-258-1611(代表) 埼玉県入間郡三芳町関沢283-1 〒354-8577